

第9回 ヒーローズカップ 開催要綱

1. 主 催 NPO法人ヒーローズ
2. 主 管 ヒーローズカップ実行委員会
3. 後 援 スポーツ庁
関西ラグビーフットボール協会
大阪府ラグビーフットボール協会 (申請中)
東大阪市
東大阪市教育委員会 (申請中)
4. 目 的 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会が掲げる「JRFU戦略計画」に則り、ラグビーファミリーの増大を実現するため、全国のラグビースクール大会を実施することで全国各地でのスクールラグビーの活動を活性化し、幅広い交流促進に寄与する。併せて大会を通じて切磋琢磨することにより、少年少女の技能の向上と心身の成長を目指すと共に、「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」のラグビー精神を理解体得した選手を育成し、将来のラグビーを担うだけではなく、幅広い各分野で日本を支えてくれる多くのヒーローたちを育てる。また素晴らしい大会を作り上げることを通じ、参加する皆が人間性を育み高めあうことを目的とする。
5. 日程/会場

東北大会	2016年11月12日・13日	一関サッカー・ラグビー場
中国地区大会	2016年11月12日・13日	ツネイシしまなみビレッジ
関東大会	2016年11月27日	海老名運動公園陸上競技場
	2016年12月4日	熊谷スポーツ文化公園ラグビー場B・C
近畿地区大会	2016年12月11日	大阪国際大学G
東海北陸地区大会	2016年12月18日	中京大学ラグビー場
関西大会	2017年2月5日	大阪国際大学G
	2017年2月12日	花園第2G
決勝大会	2017年2月25日・26日	花園第1・第2G
6. 大会組織 (1) 本大会の開催に際しては、大会実行委員会を組織する。
(2) 大会実行委員会には、各委員長、副委員長、委員を任命する。
(3) これらの組織をもって、円滑な大会運営を図ることとする。
7. 参加資格 (1) 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会に平成28年度のチーム登録が完了した各都道府県ラグビーフットボール協会所属のラグビースクールにおいて「プレーヤー」として平成28年度の個人登録が完了した小学校6年生および5年生。
(2) 保護者が大会への参加を承諾した選手であること。また、大会参加にあたっては指導員等の引率者が必要とする。
(3) 出場チームから公益財団法人スポーツ安全協会の「平成28年度スポーツ安全保険」への加入が完了した者。

8. 参加チーム (1) 1 スクール 1 チームとする。
(2) 合同チームのエントリー可能。
(3) 東北大会・関東大会は関東協会所属チーム
近畿地区大会は、大阪・兵庫を除く近畿地区のチーム
東海北陸地区大会は、東海北陸地方のチーム
中国地区大会は中国地方のチーム
関西大会は、大阪推薦 8 チーム・兵庫 8 推薦チーム・近畿地区大会 5 チーム・東海北陸地区大会 5 チーム・四国推薦 3 チーム・中国地区大会 3 チームの計 32 チーム
※関西大会は、大阪からは 11 月に行われる大会の上位 8 チーム、兵庫から兵庫県ラグビースクール大会の上位 8 チーム、四国から四国ラグビースクール大会の上位 3 チームを推薦
決勝大会は、関西大会 8 チーム、九州推薦 4 チーム、関東大会 6 チーム、東北大会 1 チーム、北海道推薦 1 チームの計 20 チームを予定
9. 競技方法 (1) 平成 27 年度公益財団法人日本ラグビーフットボール協会制定の『ミニ・ラグビーの競技規則・高学年用』による。
(2) 組み合わせは各大会毎に抽選にて決定する。
(3) 試合時間は、各大会毎に異なるが、1 日 2～3 ゲームを行い、総ゲーム時間は 60 分を越えないものとする。
10. 参加費 参加大会毎に徴収する。詳細は各大会参加概要に記載。
11. その他 各大会毎にマッチドクターを配置する。負傷に対して応急処置は行うが、大会主催者が以降の責任は負わない。
マッチドクターに競技続行不可能と判断された場合、当該選手は当日の試合には出場することができない。
選手の健康管理には十分注意すること。選手は健康保険証を持参すること。

第9回 ヒーローズカップ 実施規約

大会実施規約

1. 各大会毎に必要な選手以外のスタッフ

- (1) 大会の運営及び試合進行を円滑に進めるため、試合を実施するチームは必要なスタッフを試合毎に下記の通り選出しなければならない。

① 試合責任者	(必須)	各1名	試合実施チームの全責任者
② セーフティアシスタント (SA)	(必須)	各1名	セーフティアシスタント (SA) 資格保有者
③ 監督・コーチ	(任意)	任意	グラウンドへ入る人数は各大会で規定する
④ AR (タッチジャッジ)	(随時)	各1名	大会によっては、参加チームから選出。
⑤ レフリー	(随時)	任意	大会によっては、参加チームから選出。

- (2) 上記スタッフは、レンタル等の手段により自チーム以外の者を選出することができる。ただし、各チームはその行動の全てについて責任を負うものとする。

競技に関する諸注意事項

1. 選手登録の方法

- (1) 各大会への出場選手登録は、「第9回ヒーローズカップ開催要綱」の「7. 参加資格」の(1)(2)、(3)の要件を満たす者の中から人数制限なく登録できる。
- (2) ヒーローズカップへの出場推薦チームを選考する大会を含む各大会において、チームの移籍をして第9回大会の次の大会へ出場することは認めない。選手は、ヒーローズカップへの出場推薦チームを選考する大会を含むどれかの大会で、最初に出場登録をしたチームで最後まで出場登録することとする。
- (3) 上記選手登録に疑義が生じた場合、大会実行委員会にて出場を取り消す場合がある。違反して選手登録・出場をした場合、次回から当該チームの参加を認めないこともある。

2. 選手の交替・入替え

交替・入替えの際には、競技委員の指示に従って交替・入替えを行なう。一度の交替・入替えは3名までとする。いったん交替により退いた選手の再出場も認める。

3. シンビン、退場（競技規則第10条等参照）

- (1) シンビン（一時的退出）となったプレイヤーは、ハーフウェイライン付近の所定の場所に位置しなければならない。レフリーが許可するまで、フィールド・オブ・プレイに入ってはならない。
- (2) シンビンの時間は3分間とし、ハーフタイムの時間は含まれない。
- (3) 同一試合で2回目のシンビンを受けた選手は、そのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、各大会共通で次の1試合は自動的に出場停止となる。
- (4) シンビンの累積による退場以外の事由（不行跡等）で退場となった選手は、各大会競技委員会で処分を決定する。なお、各大会共通で次の1試合は出場停止となる。

4. 試合前受付

- (1) 試合当日、各大会競技委員が指定する時間に、試合責任者は代表者会議に出席し、メンバーおよび補助スタッフに関して、事前登録通りであるかを報告すること。
- (2) 各大会実行委員会より当日必要な伝達を行うので、代理の者でなく、必ず試合責任者本人が出席すること。

- (3) 代表者会議終了後、各大会のスケジュールにより、ドレスチェック・装身具のチェックを競技委員またはレフリーが行う。このドレスチェックを受けていない選手は試合に出場できない。
- (4) チームから AR を選出した場合、必ず試合前にグラウンドへ集合し、競技委員に確認を受けること。レフリーの要求があれば、レフリーと打合せをすること。

5. 競技時・ハーフタイム時の諸注意

- (1) 試合中チーム関係者は所定の場所に位置し、うろうろしないこと。ゲームの進行とともに移動して応援したり、指示の声を出したりしないこと。
- (2) グラウンドへ水を持ち込む場合には安全な容器を用いること。(ビン等は不可)

6. 安全対策、脳震盪の報告義務、その他

- (1) 試合参加にあたっては、あらかじめ健康診断を受ける等、プレイヤーの健康管理に充分配慮すること。
- (2) 脳震盪を起こした疑いのある、あるいは脳震盪と診断された選手は退場させる。試合中に脳震盪で退場したプレイヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
- (3) 脳震盪を起こした疑いのある、または、脳震盪と診断された選手は、必ず“IRB脳震盪ガイドライン”にある「段階的競技復帰プロトコル(G RTP)」に従って復帰すること。
- (4) 全てにおいて「安全」が第一優先順位であることを銘記すること。
- (5) 日本協会の「競技者個人登録(登録者傷害見舞金制度)」及び「スポーツ安全保険」の加入手続きに、漏れのないよう充分注意すること。
- (6) インフルエンザと診断、もしくは認められる選手は、各チームの責任において出場を辞退すること。
- (7) レフリーは、選手の安全のために、継続不可と認めたプレイヤーの出場を制限することができる。

プレイヤーの服装・ジャージの規定・ラグビーマナー

1. 服装の統一

- (1) ジャージ、ストッキングは、チーム全員統一されていることが基本ではあるが、コンバインドチームの参加もあるのでストッキングの統一までは求めない。
- (2) スパイクについて/シューズは一体形成型ゴム底のもので、鋭い形状の部分や鋭く隆起している部分がないものである限り、イボ状またはブレードタイプのもの着用の認める。スタッドの取り外しができる場合には、イボ状またはブレードタイプにかかわらず一切認めない。
- (3) ジャージ、その他の用具に血液が付着した場合には、直ちに置き換えなければならない。ジャージの損傷、血液の付着に対応するためスペアージャージを準備すること。
- (4) プレイヤーは必ずヘッドギヤを着用すること。(U12 競技規則 4 条 1. a)
- (5) プレイヤーに合ったマウスガードを装着することを推奨する。
- (6) 肩当ての着用は認めない。(禁止)
- (7) ロングタイツの着用は基本的に女子にのみ認められているが、アトピー対策等による場合は、競技委員の許可により男子にも着用を許すことがある。
- (8) 指先を切った手袋のみ着用を許す。指先まで覆う手袋は着用できない。
- (9) ワールドラグビーの承認マークが付いたゴーグルであれば、着用を認める。

2. プレイヤーの着こなし

- (1) 参加選手はラグーマンとしてふさわしい服装、身だしなみを心がける。

- (2) 選手は以下の着こなしを遵守すること。レフリーや競技委員から指摘される前に、各自、各チームで直すこと。
 - ①ストッキングはきちんと上げる。試合中にずり落ちないようにテープ等できちんと止めること。
 - ②パンツの上に出たジャージは、常に注意してパンツの中に入れる。
 - ③ジャージのエリを内側に折り込まない。
 - ④ジャージのソデを極端にたくし上げたり、テープで止めたりしない。
- (3) ドレスチェック時に、レフリー及び競技委員が服装、スタッド等の確認を行う。選手は、レフリーと競技委員の指示に従うこと。
- (4) ドレスチェックで不許可となったものを競技区域で着用していた場合には、その時点で「競技規則」第4条5（C）により退場とするが、交代選手の出場を許可する。退場した選手は、服装を正したら、レフリーの許可を得て競技に復帰できるものとする。
- (5) 服装規定に関して不明な点は事前に各大会実行委員会まで問い合わせをする等、当日のドレスチェックの際にトラブルが起こらないよう、事前徹底、再確認を充分しておくこと。

3. ラグビーマナー

- (1) レフリーへの批判、選手への感情的発言・暴言・セルフジャッジ等々、非紳士の言動は厳禁する。選手以外の監督・コーチ・その他のスタッフ、保護者、応援団も同様に禁ずる。試合中は、建設的な応援・励ましを心がけ、レフリー・対戦相手への敬意と尊敬の念を忘れないこと。
- (2) 各大会の会場（グラウンド内、更衣室とグラウンドとの往復等を含む）では、選手、指導者、スタッフ、保護者等、全員が公共空間でのマナー保持に充分注意すること。
- (4) ゴミ（グラウンド内ばかりでなく更衣室等のゴミも含む）は、会場内のゴミ箱に捨てず、必ず各自、各チームで持ち帰ること。チームはゴミ袋を用意して、すべてのゴミを持ち帰ること。
- (5) 会場内は、グラウンド、更衣室等、駐車場、その周辺区域を含めて、許可された喫煙場所がある場合を除いて全面禁煙とする。
- (6) 会場周辺の公道への違法駐車は厳禁する。

セーフティアシスタント

1. セーフティアシスタント（SA）について

- (1) セーフティアシスタント（SA）は、試合前にマッチドクターと互いに確認を行い、試合中の連携を心がける。
- (2) セーフティアシスタント（SA）は、必要に応じて試合中にグラウンドへ自由に入ることができる。待機場所は自チーム選手席であるが、選手の安全を見守る限りは自由に動いてよい。ただし、声援やプレーの指示は絶対に行わない。（選手の安全確保を考慮した指示を除く）
- (3) セーフティアシスタント（SA）は、各大会の競技委員の指示に従って、ビブス等、他のスタッフと区別できる服装を着用する。

第9回 ヒーローズカップ 安全対策規程

ヒーローズカップでは、安全を最優先とします。積極的に安全対策を行うことによって、危険の予知と予防、万が一の事故の際に適切な処置を出来る様にするため、各大会に関する安全対策規程を下記の通り定めることとします。

1. 必要な人員

(1)安全に試合を進行し、負傷や事故にすぐに対応できるように、下記の通りの安全スタッフを配置すること。

① マッチドクター

競技場の隣接する2グラウンドに対して、1名以上配置する。

協会登録の医務委員、またはセーフティアシスタント(SA)資格保有者が望ましい

② セーフティアシスタント(SA)

各試合各チームから1名、セーフティアシスタント(SA)資格保有者を選出する。

③ 競技委員

各試合に1名以上。安全なゲーム進行を見守る。

2. 環境整備

(1) 水源の確認(水道水および飲料水のチェック)。

(2) 氷の準備。

(3) 救急バッグの準備。

マッチドクターと事前に確認を取り、運営側で準備をする。

(内容物の目安)

テーピング用テープ、三角巾(4枚以上)、はさみ(2本以上)、体温計(2本以上)、綿花、単ガーゼ、消毒セット(ディスポ10本以上)、絆創膏、包帯、バンドエイド、コールドスプレー、ネット、弾力包帯、etc.

(4) ドクター待機場所の準備

医務室のない会場では、医務テントの設置が望ましい。

救急バッグ・水・氷・AED(リースも可)を設置。

(5) 救急受け入れ医療機関の事前確認

当日、大会が行われることを付近の医療機関に事前連絡をして、救急受け入れ先を確認しておく。

(6) グラウンドの準備

複数グラウンドで同時に行う時は、競技区域の間隔を充分空ける。(タッチラインの共有はしない)

必ず試合前に、グラウンドおよび周辺を、競技委員その他スタッフでチェックする。

3. 参加チーム

(1) 各チームに安全対策委員(安全推進講習会受講者または、セーフティアシスタント(SA)資格保有者または、試合責任者)を選出し、チームの安全対策を実施すること。

(2) セルフチェックシートの利用や、健康診断の実施等、選手の体調管理を普段から行い、試合当日は保護者から選手の健康状態をヒヤリングして、選手の健康状態を充分に把握しておくこと。

(3) 体調に異常所見が認められる選手、体調不良の選手を出場させない。

(4) 安全第一で正しい指導を心がけること。危険なプレーにつながる言動を行わないこと。

(5) ラグビーに適した服装で試合に参加し、爪のチェックを行う。

(6) 試合後および試合の合間は、防寒具等を着用し体を冷やさないようにする。

(7) ウォームアップ・クールダウンを充分に行わせ、障害の予防をする。

(8) 安全プレーを推進し、タックルの基本姿勢、ラック・モールの姿勢を、充分に指導しておく。

4. レフリー

- (1) 安全なレフリングを最重要とし、危険な反則に対しては特に厳しく対処する。
- (2) 積極的にプリベントコールを行い、反則と危険を未然に防ぐ。
- (3) コンタクトプレーにおいてバインドをするように指導する。ノーバインドによるコンタクトに対しては、事前に声をかけて予防し、もし発生したら単に反則を取るだけでなく、事後によく注意する。
- (4) 体調不良、怪我等で継続不可と判断する選手には、プレーを続行させない。

第9回ヒーローズカップに関する 個人情報及び肖像権に関わる取扱いについて

NPO法人ヒーローズ

特定非営利法人ヒーローズは、(以下「NPO法人ヒーローズ」という。)は、大会参加申込書等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取扱いに関して以下の通り対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取扱い

- (1)大会プログラムに掲載することがあります。
- (2)競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3)競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。
- (4)組合せ等の内容が大会関連ホームページに掲載されることがあります。
- (5)氏名・学校名・学年については、報道の正確性を期すため、大会開催前に報道機関に提供することがあります。
- (6)大会スポンサーに対して、提供することがあります。

2 競技結果(記録)等の取扱い

- (1)NPO法人ヒーローズ、又はこれらに認められた報道機関、大会スポンサー等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2)大会プログラム掲載の個人情報とともに、ヒーローズが作成する大会報告書(以下「報告書」という。)に掲載されることがあります。
- (3)記録、優勝及び上位入賞結果(記録)等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取扱い

- (1)NPO法人ヒーローズに認められた報道機関や大会スポンサー等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページや、TVCM等で公開されることがあります。
- (2)NPO法人ヒーローズに認められた報道機関や大会スポンサー等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3)この他、NPO法人ヒーローズに許可を受けた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがあります。

4 NPO法人ヒーローズの対応

- (1)取得した個人情報を前記利用目的以外に使用することはありません。
- (2)参加申込書の提出により、前記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (3)大会役員、競技役員、運営委員、その他各種委員や補助員、ヒーローズカップに関する契約をしている者、大会運営関係者及び会場に来られた観客の皆様につきましては、前記取扱いに関する御承諾をいただいたものとして対応させていただきます。